

熊本市 感染症発生動向調査 速報

現在の流行状況

感染性胃腸炎の報告が続いています。

熊本市における第22週(5月25日～5月31日)の定点医療機関あたりの感染性胃腸炎の患者報告数は、10.13人(定点数16ヶ所、患者報告数162人)となり、前週(9.25人)より微増しました。引き続き、手洗いなどの感染予防策をしっかりと行いましょう。

○予防方法：手洗いをしましょう(特に調理の前、食事の前、トイレに行った後、下痢等の患者のオムツを交換した後など)。食品はきちんと加熱してから食べましょう。患者の便や嘔吐物の中にウイルスが含まれるので、便や嘔吐物は次亜塩素酸ナトリウムなどを使用し処理をしましょう。

手足口病に引き続き注意しましょう！

定点医療機関あたりの手足口病患者報告数は、1.63人(定点数16ヶ所、患者報告数26人)で、前週(2.69人)より減少しました。警報基準値(定点医療機関あたり5.00人)には達していませんが、夏場に流行することが多く、これから更に増加する可能性があります。

手足口病は、5歳までの子ども、特に2歳以下の乳幼児を中心に流行する急性ウイルス性感染症で、口の中、手のひら、足の裏や足の甲などに2～3mmの水疱性の発疹が出ます。便や咳、くしゃみから感染しますので、排便処理後、食事前、調理前の手洗いやうがいなどが感染予防に有効です。

期 間		平成27年 第21週		平成27年 第22週	
		5/18～5/24		5/25～5/31	
疾患名	疾患の増減	報告数	定点当り	報告数	定点当り
インフルエンザ		13	0.52	8	0.32
RSウイルス感染症		0	0.00	0	0.00
咽頭結膜熱(プール熱)		7	0.44	6	0.38
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		17	1.06	20	1.25
感染性胃腸炎		148	9.25	162	10.13
水痘(みずぼうそう)		4	0.25	9	0.56
手足口病		43	2.69	26	1.63
伝染性紅斑(りんご病)		5	0.31	5	0.31
突発性発しん		16	1.00	16	1.00
百日咳		0	0.00	1	0.06
ヘルパンギーナ		6	0.38	2	0.13
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)		0	0.00	2	0.13
急性出血性結膜炎		0	0.00	0	0.00
流行性角結膜炎(はやり目)		28	5.60	22	4.40
細菌性髄膜炎		0	0.00	0	0.00
無菌性髄膜炎		1	0.20	0	0.00
マイコプラズマ肺炎		4	0.80	2	0.40
クラミジア肺炎(オウム病を除く)		0	0.00	0	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルス)		0	0.00	0	0.00